

古書館ノ香り

— Kozeki Ui's fragrance inside antiquarian books library...

R18
UNOFFICIAL FAN BOOK



私の名前は古関ウイ

トリニティ総合学園で
古書の管理と図書委員長を任されている



最近、「先生」と呼ばれる
外の方がやってきて



私の日常は
大きく変わった



こんな日陰者にも…
優しく接してくれた

私は…
そんな先生との日常が



—あの人のことが、
好き…なんだと思う

…でも



当然、そんなあの人は
たくさんの生徒に慕われていて

私なんか
到底釣り合はず



すこし…

休もうかな…



古関 いるか〜？

まゆま...♡

借りてた子、
返しに来...

もぎ...

クク

クク

クク

クク



その...
もっしっ...近づいて...♡



先生は…
こんな陰気な私にも…

はーッ

こ、古関……？

幻滅しないで付き合ってくれて…

はーッ

きっと先生には

そんな先生が…
私なんかには…情欲を、抱いてくれた…
はーッ

本当に…
怒ってないのか？

もっといい人が
いるんだろうけど



ほんとうですわ…

でも、今だけは…

す

怒って…ませんから…♡

私だけをっ…！



先生の…おとこのひとの、おい…

ツ!
!?

びくっ
びくっ
びくっ

びくっ

れる



頭…くらくらする…

古関…

びくっ
びくっ
びくっ

びくっ
びくっ
びくっ

どき
どき

こんな先生なのに、いいのか…?



先生も...
溜まってらっしゃる
のでしようし...

私なんかで...

さあ...♡



さあ...♡

おおお



ほんれ...

へんひょうひてまふから...♡



喉奥ツヤバツ...

どんどでそんな...



ッ!?



大好きなひとの……

は——♡

はっ♡

にちっ♡

は——♡

むせ返るかのような雄の匂い……♡



「……」

はっ♡

口の中まで……
充滿して……



私も……

はっ♡

はっ♡



先生が欲しくて……

あん♡

はっ♡

はっ♡

我慢できなくなる……♡

あん♡



すまん...

こ、古関ッ...もう...ッ

激ッしッ...

っぐ

くっくっくっ

くっくっくっ

てんてんてん
てんてんてん

あま...
本当にすまない...
つい...抑えきれずに...

先生が...私で気持ちよく...

ぬほお...
ほお...

...うれし...

苦しかったよな...
すぐ吐き出して...

とろ...

しゅわん...
しゅわん...
しゅわん...
しゅわん...



大丈夫……だ……

か……ら……ッ

は……♡

こっ……
古関ッ……

そんな顔見せられたら……
俺……もうっ……

先生が望まれるのでしたら……
私は……この先も……♡

私みたいな日曜者
私なんか到底釣り合うはずが
さっさと先生にはもつと……

ズキッ

せ、せんせいっ

じいめんなつこ
やっぱじい……

やっぱりさっきのは
聞かなかったことにしてください……

私は……その……
スタイルもよくないし……
おいとかも……あれで……

私じゃ……私なんかじゃ
先生を失望させるだけなんです……

先生には……

私よりもっとふさわしい方が……
絶対いらっしやいますから……



わたし…私なにかの

古関

君が貸してくれた子達は



先生の俺でも
知らなかったことを
沢山教えてくれて

シャーレの業務に追われる中、
古関と過ごすひとときが…



いつの間にか、
俺にとって一番大事な時間
になっていたんだ

…ウイ



俺は…君だから
一緒に居たいんだ



…って

こんな男から
言われても…



嬉しくなんて

たは

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ



先生っ…

そんな告白されたら…私っ…

はっ

はっ

おはっ…



もう先生への気持ちを抑えることなんて…

できなくなっちゃいます…♡

はっ

はっ

ぶっ



先生のが...

ぐぐぐ...

私の中...

ちゅ...



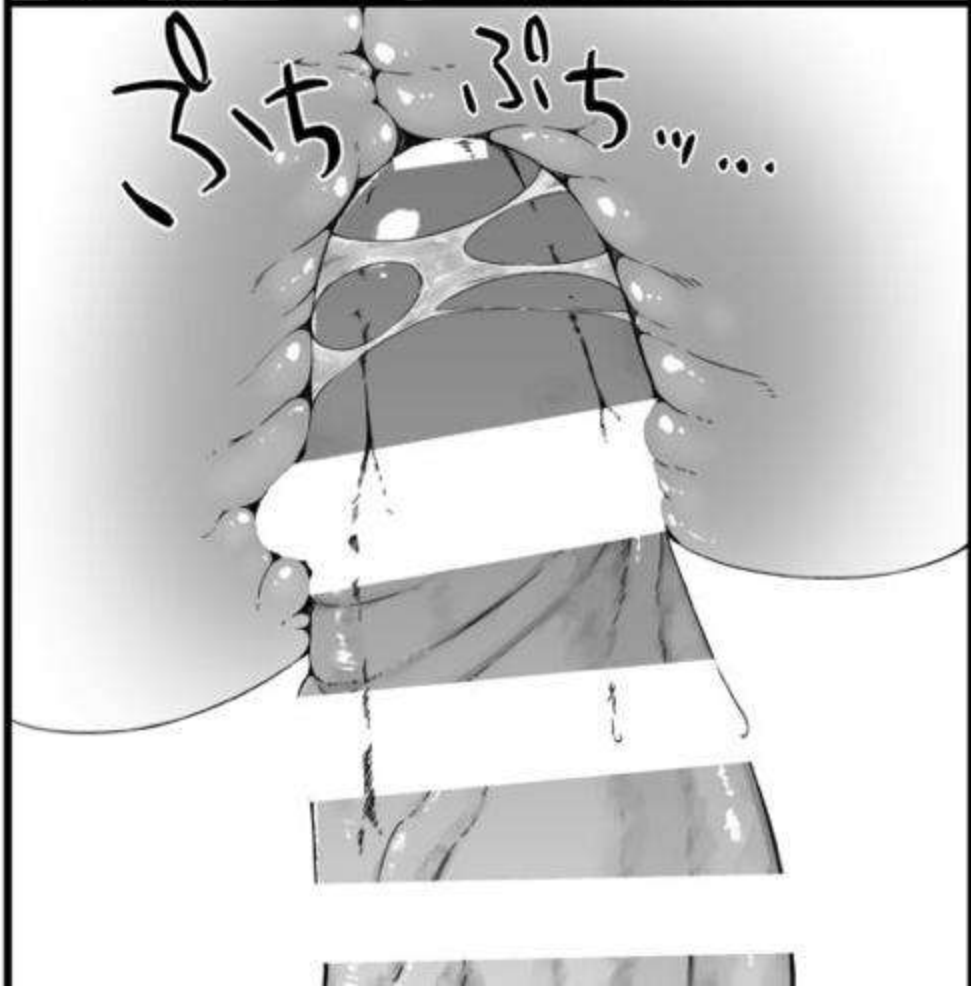
ぐ... たあ...

しゅ...

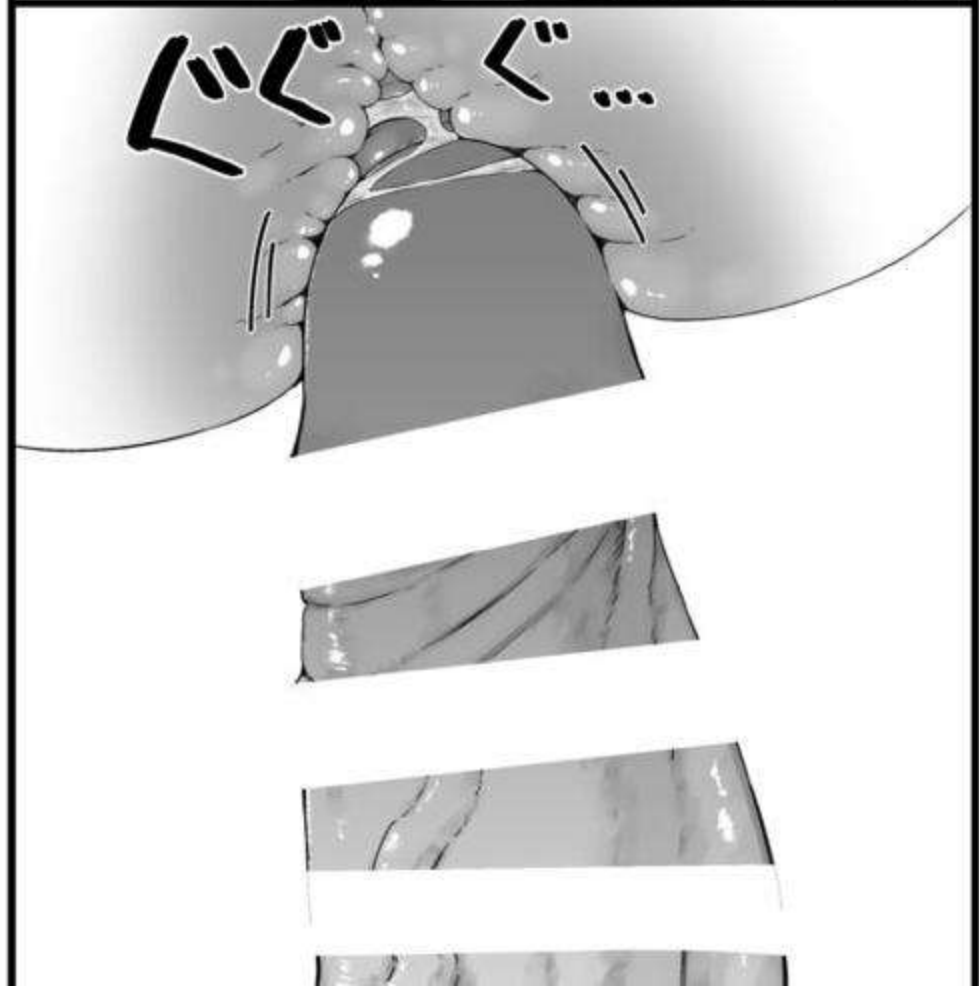


入っ... てッ...

は...



ちゅ... ちゅ...



ぐぐぐ...



俺の前では

もう自分の本当の気持ち
を隠したりしなくていいんだよ

ウイ

先生……♡先生っ……♡♡♡

あー
あー
あー

幸せすぎて……頭とろけちゃう……♡

先生との繋がりがからのキスツ……

ちゅちゅ♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡





はい、先生♡

もう痛くないですから...
先生の...お好きに...♡



ズンズン♡♡♡

ズンズン♡♡♡



あ...♡先生の赤ちゃんが...

なかで...♡



ズンズン♡♡♡



気持ち...

はっちゃん



先生の...一番奥まで届いてる...

先生の一番奥まで届いてる...

たんたん

たんたん



先生と繋がってたい...

先生の傍にいたい...

はっ

はっ

はっ



せ、先生!?

す

!!

.....



ウイッ...
ウイッ...!!

ウイッ...
好きだッ...!!

匂い... 恥ずかしいの...

そんなところ
嗅がなっ...

先生の... 一段とおっきく...

.....
もっっ

...

おっ



吐き出してるぞ

あーん

ちゅちゅ

おんおん

おんおん

先生の精液が…
私の腔内に吐き出されてっ…♡

…あたたかい…♡

先生…
もう少し…このまま…♡

ちゅちゅ

あーん

ちゅちゅ

ちゅちゅ

先生の…

…先生は私を好きだと
言ってくれたけど

お腹の中で…
まだあったかい…

やっぱり私は
きらびやかな他の子達と
比べると

埃かぶった
埋もれている子—

でも—

…先生

これからも私と一緒に…

あの子たちと一緒に—
古書

いろんな子達に、
会いにいきましょうね♡

こうして見つけてくれる人が
いてくれるなら—

奥付

『古書館ノ香り』

発行日 : 2022/8/14

サークル : だめなひ堂

作者 : だめなひと

Twitter : @damenahit1

Mail : dame0317@yahoo.co.jp

- 十八歳未満の購入・閲覧を禁じます。
- 無断転載及び、無断アップロードを禁じます。

Presented by ためなひ堂
Blue Archive Fan Book